

# 1 陸上競技

1 期日 令和2年9月11日(金)

顧問打ち合わせ 8:00  
開会放送 8:20  
競技開始 9:00~  
閉会放送 15:40~15:50

2 会場 小矢部陸上競技場

3 競技種目

(男子13種目)

1年	100m
2年	100m
共通	200m 400m 800m 1500m 3000m 110mH 4×100mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投(5.0Kg)

(女子10種目)

1年	100m
2年	100m
共通	200m 800m 1500m 100mH 4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投(2.721Kg)

## 4 参加規定

- (1) 1人2種目(リレーを除く)1校1種目2名以内
- (2) 各種目とも補欠申し込みは認めない。但し、リレーは学校単位で6名以内とする。
- (3) 申し込みは、令和2年8月28日(金)のプログラム編成会議時に、「申し込み用紙」を2部作成(1部コピー)して持参する。参加料1名70円も同時に提出する。また、申し込みデータを事前にメール(吉江中 利川先生へ)する。
- (4) 8月28日(金)のプログラム編成会議では弁当1個750円の注文を各校でまとめて注文する。

## 5 競技参加上の注意

- (1) 令和2年度日本陸上競技連盟競技規則及び第44回富山県ジュニアオリンピック陸上競技大会要項に基づき実施される。
- (2) 選手の受付・招集
  - ① 受付は本大会では行わない。ただしリレー種目については競技開始60分前までに顧問が本部に提出する。
  - ② 招集は、スタート地点及びピットで、トラック競技はプログラム記載の競技開始時間の15分前に、フィールド競技は30分前に行う。集合場所で選手とゼッケンを確認できない場合は棄権とする。ただし、2種目を兼ねる場合は代理を認める。
  - ③ 決勝進出者の氏名は通告並びに掲示板で知らせる。決勝進出者は招集時刻に間に合うようにスタート地点に集合する。
- (3) アスリートビブス(ナンバーカード)について
  - ① アスリートビブス(ナンバーカード)は、4ケタ番号のものを着用し、男子は黒字、女子は赤字で胸と背に結着する。
  - ② 走高跳・棒高跳・走幅跳に出場する選手は、その競技に限り、胸または背のいずれかにアスリートビブスを付けていけばよい。

- (4) 走高跳は、男子1m30、女子1m15より開始し、以後5cmずつ上げる。棒高跳は、1m80より開始し、以後10cmずつ上げる。
- (5) トラック競技の予選のコースは、プログラム記載のレーンまたは番号順とする。フィールド競技の試技は、プログラム記載の縦の順に行う。
- (6) 決勝進出について
  - ① トラック競技の決勝は、予選の記録上位者8名で行う。また予選で同タイムの場合は、抽選で決勝進出者を決める。(ただし、同一組で同タイムの場合は、着順を優先する。)
  - ② フィールド競技の決勝は、上位8名でおこなう。
- (7) 表彰は各種目3位までとする。賞状は本部裏の廊下で配布する。
- (8) トラック競技において、不正スタートは1回目で失格とする。
- (9) 選手の変更は一切認めない。
- (10) 共通種目においては学年に関係なく出場できる。ただし、オープン種目と同じ種目に出場することはできない。
- (11) 学年別種目は該当学年の生徒に限る。学年別種目のあるものについては共通種目への参加はできない。
- (12) フィールド内の立ち入りを禁止する。
- (13) 参加校は必ず競技役員1名以上の協力(教員)を必須とする。(途中交代可)
- (14) 陸上部の設置されていない参加校については、競技に支障のない範囲で各校1名以上の補助員協力をすること。

#### 補助員の西担当 (陸上部設置校)

決勝係	出町②	監察係	城端②、平①	風力係	井波④
決勝記録	吉江②	跳躍HJ	吉江②	跳躍LJ	吉江④
跳躍PJ	福光②	投てき係	出町④	出発	城端②
競技者係	井波②	用具係	城端③、井波③	本部記録	福光②
写真判定補助	福光②				

#### 6 感染症予防対策事項(競技役員・出場選手共通内容)

- (1) 来場の際は事前に配布する「体調管理チェックシート」を自宅で記入し、必ず提出する。
  - ① 選手・引率教員は学校ごとにチェックシートを集めて、学校受付で提出する。
  - ② 競技役員は審判手帳とともに、メインスタンド下の玄関受付でチェックシートを提出する。
  - ③ 競技進行を優先する観点から本大会は無観客での開催とする。会場には、競技役員、生徒(選手、応援、補助員を含む)、引率教諭のみ入場することができる。
- (2) 選手はマスクを持参し、運動時(ウォーミングアップ含)以外はマスクを着用する。
- (3) 運動や動きを伴う指導時以外は審判もマスクを着用する。
- (4) 競技中、ウォーミングアップ中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- (5) 声を出しての応援や集団での観覧は禁止する。
- (6) 場内各所にアルコール消毒液を設置し、場内アナウンスで、こまめな手洗いや消毒を呼びかける。
- (7) 選手と審判、選手同士の間隔を最低1m以上保つよう呼びかける。
- (8) 競技終了後は、必ず手洗い・手指の消毒・洗顔を行うよう呼びかける。
- (9) 大会終了後2週間以内に感染が確認された場合、直ちに主催者に報告することとする。